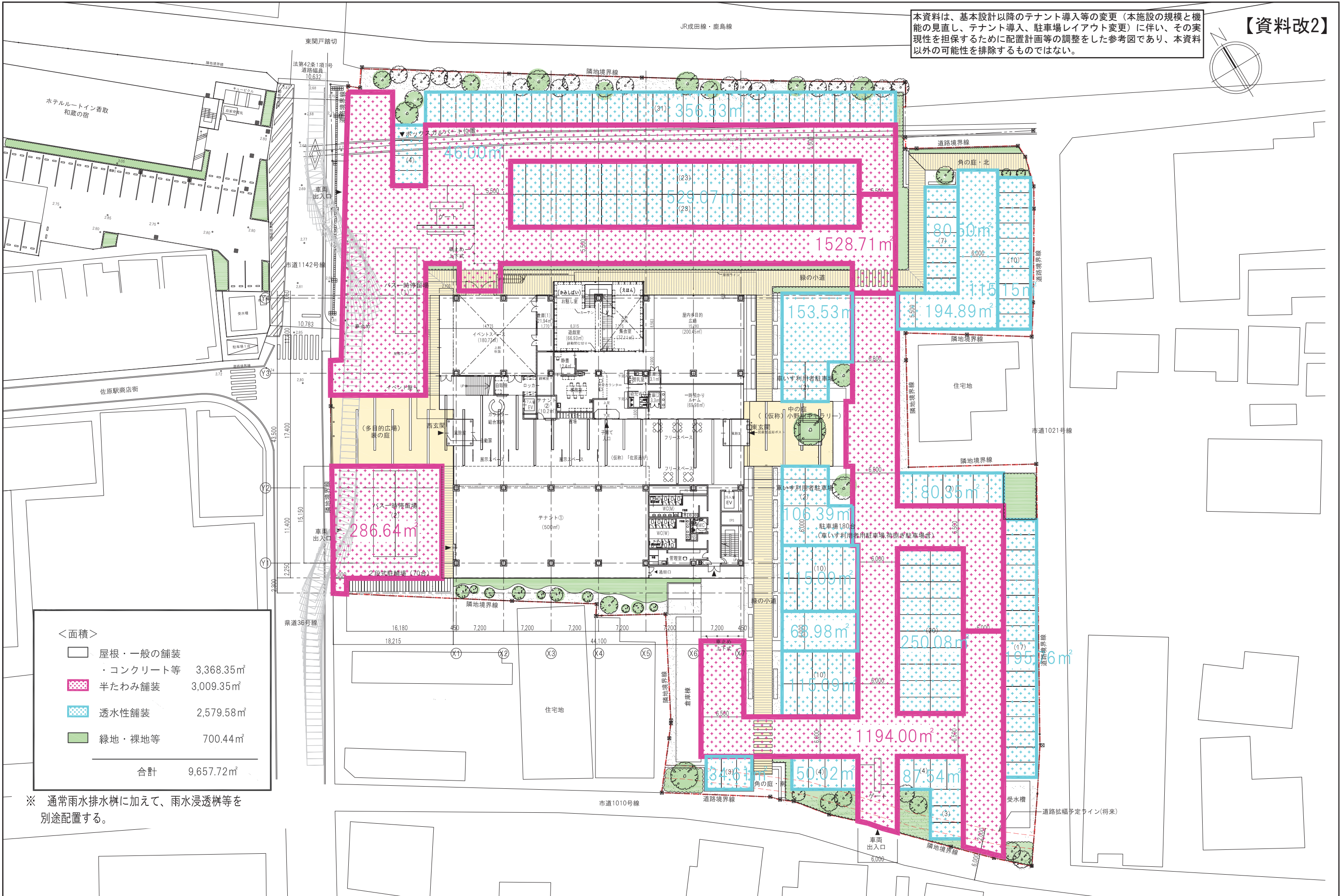


本資料は、基本設計以降のテナント導入等の変更（本施設の規模と機能の見直し、テナント導入、駐車場レイアウト変更）に伴い、その実現性を担保するために配置計画等の調整をした参考図であり、本資料以外の可能性を排除するものではない。

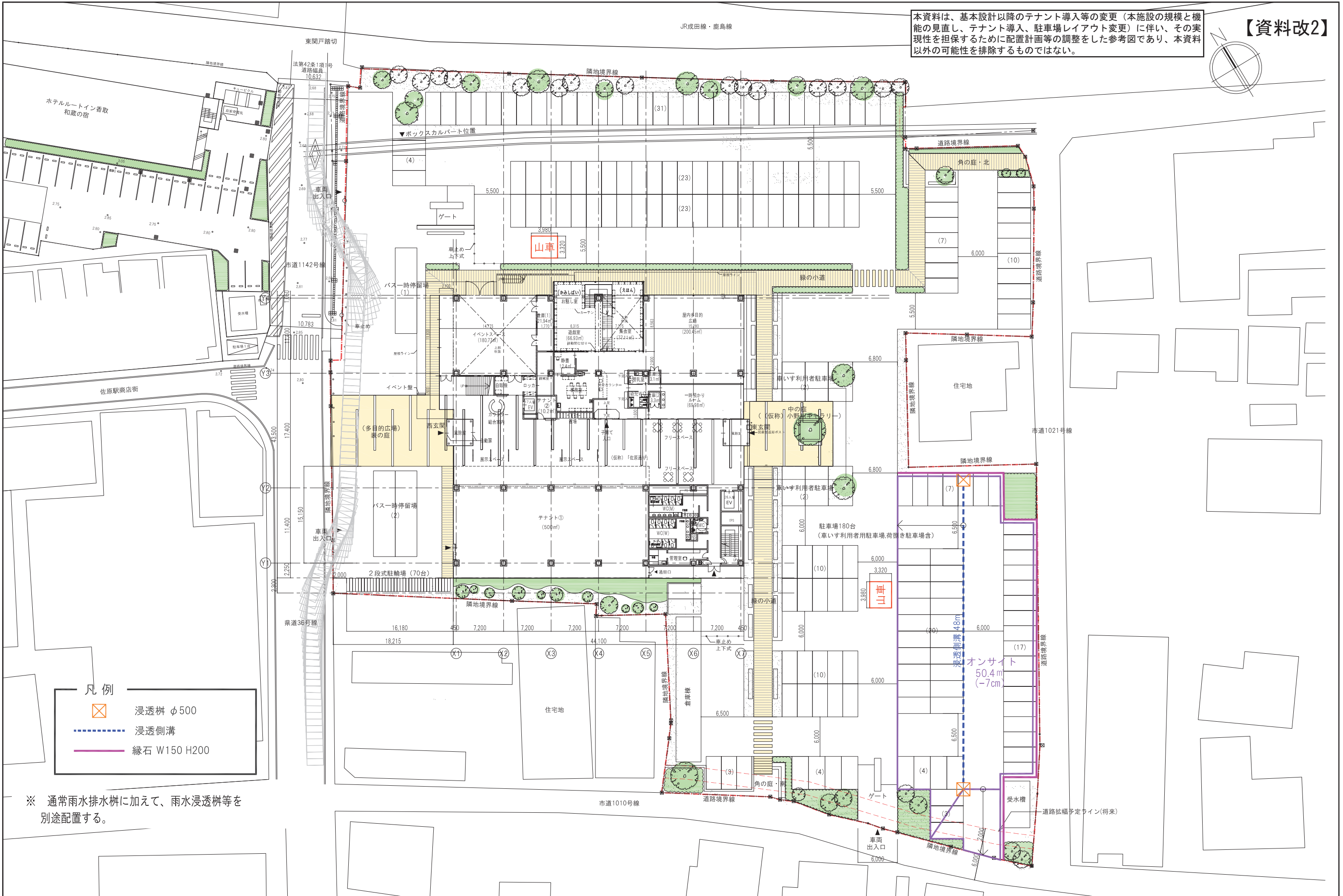


<面積>

屋根・一般の舗装	
・コンクリート等	3,368.35㎡
半たわみ舗装	3,009.35㎡
透水性舗装	2,579.58㎡
緑地・裸地等	700.44㎡
合計	9,657.72㎡

※ 通常雨水排水柵に加えて、雨水浸透柵等を別途配置する。

本資料は、基本設計以降のテナント導入等の変更（本施設の規模と機能の見直し、テナント導入、駐車場レイアウト変更）に伴い、その実現性を担保するために配置計画等の調整をした参考図であり、本資料以外の可能性を排除するものではない。



- 凡例
- 浸透柵 φ500
  - 浸透側溝
  - 縁石 W150 H200

※ 通常雨水排水柵に加えて、雨水浸透柵等を別途配置する。

■雨水抑制計算書

1 敷地面積

敷地面積計	A0	9657.7
-------	----	--------

2 計算式

流出雨水量の計算式	Q	Q=C0×A0×I
	Q	流出雨水量(立米)
	C0	平均流出係数
	A0	敷地面積(平米)
	I	時間雨量(53mm)

① 307 m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup>

3 浸透施設の設置に適さない区域

浸透施設の設置に適さない区域を	1 含む
	2 含まない

4 設置基準

雨水流出計数	0.6	中部分区その1排水区
流入時間	7 min	

5 工種別流出計数値

		②	③	④=②×③
非透水屋根・一般の舗装・コンクリート等	C1	0.9	6,378.7	5740.8
透水性舗装	C2	0.7	2,579.6	1805.7
緑地・裸地等	C3	0.25	700.4	175.1
小計			⑤	7721.6

6 当該事業による雨水流出抑制必要量の算出

雨水流出抑制量 ① 307 m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup>  
 当該事業による雨水流出抑制必要量 C0=⑤/A0 0.79953 m<sup>3</sup>

7 透水すべき水量

Q=A0×I×(C0-0.6) ⑥ 102.13 m<sup>3</sup>

8 浸透施設による対策量

		浸透能力数量 ⑦	数量 ⑧	浸透量 ⑨=⑦×⑧
浸透柵	φ 350	0.34		0
	φ 500	0.7	2	1.4
浸透トレンチ	0.4m×0.45m	0.24	0	0
	0.55m×0.60m	0.44	0	0
	0.75m×0.75m	0.7	0	0
浸透側溝		0.1	48	4.8
	計		⑩	6.2

9 貯留施設による対策量

	貯留面積 ⑪	貯留水深 ⑫	貯留量 ⑬=⑪×⑫
貯留施設 (ア) オンサイト	2,579.6	0.02	51.5916
	計	⑭	51.5916

	貯留面積 ⑮	貯留水深 ⑯	貯留量 ⑰=⑮×⑯
貯留施設 (イ) オンサイト	720	0.07	50.4
	計	⑱	50.4

10 対策量の合計

⑩+⑭+⑱ 108.1916

11 指導条件

⑩+⑭+⑱≥⑥ 成立